

6-3 3/5時の指導計画

(1) 目 標

- ・ 目的に応じて効果的な図表を書くとともに、段落の構成を考え、文章を書こうとする。
- ・ 指示語や接続語を適切に使って図表を説明することができる。
- ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書くことができる。

(2) 展 開 ※ 本時における評価は、観察と授業終了後に回収したワークシート④によって行う。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ICT活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を確かめる。	学習計画 表	○前時に学んだことを2～ 3名に発表させる。 ○本時の目標を斉読のよっ て確認させる。	
	ポイントを押さえて、材料を基に図表をまとめるとともに、構成を考え、文章の下書きをしよう。			
展 開	2 『私』の説明文」完成作 品例を読み、本時の目標と 照らし合わせる。 〔手順〕 1) どのような材料を基 に円グラフにまとめた のかを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     ・やる気, 期待, 不安, 根気の各要素が私 の「成分」であり, 私の心を占める感 情や考えのキーワ ードであることに 気付く。 ・割合を示すために円 グラフを使ったこと を確かめる。                 </div> 2) 文章と円グラフに共 通して使われている語 句を手掛かりにして, 図表と文章との関係を 考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     ・文章には要素名が書 かれているが、それ の占める割合は書 かれていない。                 </div>	ワークシ ート②	◆教科書P77を電子黒板に 映し出し、マーキングす る語句の確認をしながら 学習を進めさせる。 ○円グラフのそれぞれの要 素に色分けしてマーキン グさせ、自分の心を占め る感情や性質を材料にし て割合で示していること を確認する。 ○割合を示すには、円グラ フが適切であることをワ ークシート②と照らし合 わせて確かめさせる。  ○説明文「私の『成分』」を 読ませ、円グラフにある 言葉と同じ言葉に同じ色 でマーキングさせる。 ○円グラフの要素の多い順 に説明していることを確 かめさせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     【関①】図表を用いた説 明の効果などを考え、読 みやすく印象的な文章 を書こうとしている。 【ワークシート④】 【観察】                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     具体的なポイントを参照 しながら『私』の説明文」 の下書きをしている状況 を「おおむね満足できる」 状況(B)と判断する。                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                     ワークシート③で収集・ 整理した材料を基にし て、ポイントごとに参考 資料を示し、一緒に適切 な図表を選んだり、分か りやすい構成を選んだり して下書きを書かせる。                 </div>

3) 文章の構成の仕方を考える。

- ・初めに対応する結びを省略している。
- ・要素の説明が起承転結の構成で書かれている。

4) 段落の書き出しに注目して、改行し1字下げて書くことと順序を表す語句や指し示す語句を使うことを確かめる。

5) 本時の目標から具体的なポイントを考えて発表し合う。

- 適切な形式の図表
- 段落の役割の明確な構成
- 順序を表す言葉や指し示す言葉
- 図表と文章の関連
- 適切な表記

3 本時の目標から考えた具体的なポイントを押さえて、『私』の説明文の下書きをする。

4 書いた下書きを読み返し、ポイントが押さえられているか確かめる。

学習の手引き「読むこと」⑤「構成に強くなろう！」  
学習プリント①「指示語」、②「接続語」

ワークシート②  
ワークシート③  
ワークシート④

○学習の手引き「読むこと」⑤「構成に強くなろう！」の「説明的な文章の構成」を参照させ、例文が結びを省略する形となっていることに気付かせる。

◆電子黒板に映し出した例文を指し示しながら確認をさせる。

《板書例》

①材料を基に図表にまとめる。  
伝えたい内容に合った形式を選ぶ。  
 →ワークシート②  
 ※図表の書き方に従って書く。→他教科

②段落構成を考えて下書きをする。  
段落の役割を意識して書く。  
 →学習の手引き⑤  
順序を表す言葉や指し示す語句を使う。  
図表と文章を関連させて書く。  
 ・図表を見る順番に書く。  
 ・中心に見せる場所を決めて詳しく書いたり、簡単にまとめて書いたりする。  
漢字で書くべき語句は漢字で書く。

○分からない漢字については、辞書を活用して確かめて書くように促す。

○書き分けの難しい同音異義語や同訓異字など、間違いの多い表記については黒板に書き出し、注意を促す。

【言①】図表を説明するときに、指示語や接続語を工夫して使っている。  
 【言②】学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。  
 【ワークシート④】

【言①】図表を指し示す言葉や、図表を見る順番を示す言葉を適切に用いて、『私』の説明文の下書きをしている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。

【言②】学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って、『私』の説明文の下書きをしている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。

指示語や接続語については、使うべき箇所を指摘して、いくつかの例から適切なものを選ばせる。漢字で表記すべき語句についても指摘して書き直しをさせる。

まとめ	5 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り、「学んだこと・感想」を書く。また、次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。	学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。</li> <li>○板書を参考にして学んだことを書かせる。</li> <li>○次時は、グループで推敲をすることを確かめる。</li> </ul>	
-----	--	-------	---	--